

12/2 大会30周年の記念誌を寄贈
飛衣羽衣カチャーシー運営委員会来訪



飛衣羽衣カチャーシー運営委員会(仲本賢一郎運営委員長)が市役所を訪れ、30回分の大会記録を後世へ伝えるため作成した「とびんすはにんすカチャーシー大会30周年記念誌」の寄贈を行いました。長年関わってきた新垣義夫前運営委員長は「編集に苦労しましたが、何とか完成しました。これから、若い人たちを含めて新しい挑戦がはじまると思いますが、頑張っていきます」と話しました。

12/7 市民に寄り添った政策実現へ
市議会からの政策提言へ回答書を手交



「第6回議会報告及び市民との意見交換会」で、聴取したご意見・ご要望をもとに協議・検討した政策提言への回答書が、松川市長から上地議長へ手交されました。松川市長は「市議会の取り組みに対して市当局も連携して様々な事業も含めて取り組んでまいりたいと考えております」と述べ、上地議長は「市民の皆様から頂いた意見をもとに取りまとめた提言に対し、前向きな検討、そして必ず実現できるよう対応をお願いします」と話しました。

12/13 コロナ禍でも積極的に新しいことに挑戦
JICA海外協力隊帰国報告会



JICA海外協力隊員としてウガンダ共和国に派遣された、市出身の盛島加菜さんの帰国報告会が、オンラインにて行われました。派遣先では、中等高等学校で体育の授業を実施しながら、地域子ども会にて日本の子どもたちとのオンライン交流会も実施しました。盛島さんは「オンライン交流会では、互いに紹介し合ったり、質問をしたりと両国の子どもたちにはとてもいい機会になったと思います」と話しました。

12/4 市内の文化財を豊かな表現力で描く
ぎのわんの文化財図画作品展表彰式



市立博物館にて第29回ぎのわんの文化財図画作品展表彰式が行われました。今年度は計177名の応募があり、小学校中学年の部では長堂凜寿さん(大謝名小4年)が、高学年の部では近藤美月さん(大山小6年)が、中学生の部では仲地輝さん(普天間中3年)が教育長賞を受賞されました。仲地さんは「普天満宮に上っていく階段とその先の普天満宮の構図をきれいに整えてバランスよくしました」と話しました。

12/11 時代に適応したPTA活動を探究
第44回宜野湾市PTA研究大会を開催



市中央公民館にて第44回宜野湾市PTA研究大会が開催されました。本大会はPTAの組織、活動等に反省と検討を加え、時代に適応したPTA活動の在り方を探求するため開催しており、今年度はオンライン同時配信を行いました。はごろも小学校PTAのコロナ禍での運動会と読み聞かせ、学年レク等での取り組みと普天間中学校PTAの食育事業の研究報告が行われ、活動の成果と反省点や今後の課題について話し合いました。

12/13 クリスマスを通して地域を賑やかに
いこいの市民パークにイルミネーション



市内在住の奥原一貴さんが、いこいの市民パークの一部に色とりどりの電球を飾り付けました。奥原さんは「クリスマスが好きで、イルミネーションを行いました。今住んでいる宜野湾市から、クリスマスを通して沖縄を盛り上げて行きたいです」と話しました。今後も、資金を集めながら規模を大きくしていきたいと語る奥原さんは、いずれは観光業の会社も立ち上げたいと熱意を燃やしています。

11/25 「ちゅうさん運動」の一環として
適正飲酒優良事業者に認定証を交付



宜野湾地区安全なまちづくり推進協議会では、適正飲酒に係る講話や従業員への教育指導、宣言書の提出を行った、沖縄西濃運輸株式会社(松川直哉代表取締役社長)と同社宜野湾支店を適正飲酒優良事業者と認定し、認定証交付式を行いました。松川代表は「飲酒に対する姿勢は、社員の誇りにも繋がっていくと思いますので、これからも適正飲酒事業を推進していきます」と話しました。

11/30 母校愛を育て、文武両道を実践
普天間高等学校各部活動の成果を報告



普天間高等学校の各種部活動に励む生徒が市役所を訪れ、沖縄県高等学校新人体育大会、全九州高等学校新人大会の結果報告および、全九州高等学校選抜大会、全国高等学校選抜大会の出場報告を行いました。選手を代表して、バトミントン男子の小渡たからさん(同校2年)は「自分たちのプレーだけではなく、競技以外でも代表として恥ずかしくない行動をとっていきます」と決意を語りました。

12/1 地域の身近な相談役として
民生委員・児童委員委嘱状伝達式



民生委員・児童委員委嘱状伝達式が行われ、嘉川チエ子さん、仲本ルリ子さん、安里晴美さんへ、松川市長より厚生労働大臣と沖縄県知事からの委嘱状を伝達しました。嘉川さんは「皆さまにご指導いただきながら、手助けができたと思います」と、仲本さんは「地域のために、お役に立てる活動をしていきたいです」と、安里さんは「地域のために、恩返しをしながら活動していきたい」と話しました。

11/26 温かいご支援ありがとうございます
麻雀卓と麻雀牌の寄贈がありました



全国麻雀段位審査会(山岸次雄理事長)から、麻雀卓と麻雀牌の10セットの寄贈がありました。山岸理事長は、「文化祭を機に全国健康マージャンが広がっていくことを願っております」と話しました。本市では令和4年に開催される美ら島おきなわ文化祭2022にて、健康マージャン交流大会・将棋フェスティバル・じのーん地域芸能伝統まつりを行う予定となっています。

11/30 女性の地位向上と社会参加を促進
「翼の会ぎのわん」活動を報告



翼の会ぎのわん(興儀美奈子会長)の関係者が松川市長を訪ね、2021年度の第38期生の研修報告を行いました。翼の会ぎのわんは、沖縄県「女性の翼」で得た知識と体験を基に、宜野湾市における国際交流の推進と女性の地位向上及び社会参加の促進を目的に活動しています。研修報告を行った第38期生の友寄泉さんは「同じ志を持った仲間がいるので、楽しく前に進めていけています」と話しました。

12/2 宜野湾地区スポーツ少年団剣道部
全国大会団体戦と個人戦の出場を報告



宜野湾地区スポーツ少年団剣道部が市役所を訪れ、県大会の結果と全国大会出場を報告しました。「第14回都道府県(沖縄県)大会」の個人戦にて、辻武士さん(はごろも小6年)が優勝、喜多風介さん(はごろも小6年)が準優勝、団体戦では準優勝し、大阪府にて開催される「第55回全国道場少年剣道大会」に団体戦、「全国道場少年剣道選手権大会」に個人戦で沖縄県代表として出場が決定しています。